

Implant-assisted removable partial denture インプラントパーシャルデンチャー IARPDの臨床

〈監修・著〉 亀田行雄 (埼玉県開業)

new

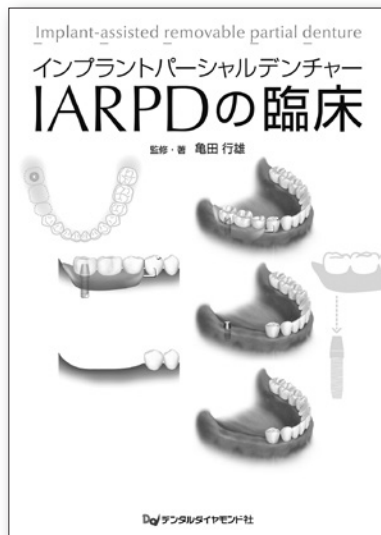
多数歯欠損補綴の新しい視点

本書で提案するインプラントパーシャルデンチャー (IARPD) に関しては、以前より臨床にて行われていたにもかかわらず、多数歯欠損補綴の治療選択肢に含まれることはあまりありませんでした。本書ではIARPDに関して、現時点でわかっているエビデンスを整理し、従来の補綴装置との利点だけでなく欠点も明確にしました。インプラントの埋入からメンテナンスまで、症例も多数掲載し、臨床に即した内容になっております。IARPDを治療のオプションとして取り入れる一助となれば幸いです。



Contents

- 第1章 インプラントパーシャルデンチャー (IARPD) とは
- 第2章 これまでのパーシャルデンチャーを考える
- 第3章 インプラントパーシャルデンチャーのエビデンスと現在の戦略
- 第4章 インプラントパーシャルデンチャーの製作技法
- 第5章 メンテナンス



A4判・154頁・オールカラー
本体8,500円+税

これからの義歯治療と インプラントオーバーデンチャー

〈著〉 亀田行雄 (埼玉県開業)

本邦初！ 義歯治療をベースとしたIODの臨床本

超高齢社会を迎え、日本ではますます義歯の需要が高まっている。そのようななか、今まであまり変わらなかったと揶揄される義歯治療が、これからの10年で大きく変わると思われる。その一つの要因がImplant Overdenture (IOD)の普及であり、義歯治療の一つのオプションとして避けられない治療法となってきた。IODの基本である2-Implant Overdentureは、機能に合わせた義歯を製作しなければ、インプラントに傷がつき義歯も破損する。

IODは、義歯治療をベースにすることに意義がある。それによりアタッチメントの選択基準や義歯製作が理解しやすくなり、更にはパーシャルデンチャーを含めたすべてがIODへの応用に広がり、義歯治療の総合力が高まるのである。



A4判・144頁・オールカラー
本体7,600円+税